

学年だより No.10

令和4年12月2日
小平第三中学校
第2学年

早いもので、今年も最後の月になりました。先月は音楽祭という一つの大きな行事を終え、充実感や達成感を味わうことができた生徒が多かったようです。行事を通して得たものを、今後の学校生活に生かしてほしいと思います。11/7には学年集会を開き、現在の3年生が進路に向けて具体的にどのように動いているのか、2年生の今の時期にやるべきことは何か、など、今後の進路についての話をしました。今の時期にやるべきこととして①授業を大切にする、②提出物は確実に提出する、③学校生活のきまりを守る、の三点を確認しました。基本的なことを当たり前に、着実にできる習慣が大切です。ご家庭でもお声かけいただき、支援していただければと思います。

2年生 12月のおもな予定

1 (木)	
2 (金)	SSW 勤務日
3 (土)	
4 (日)	
5 (月)	朝礼
6 (火)	
7 (水)	SC/SSW 勤務日
8 (木)	専門委員会
9 (金)	SSW 勤務日 中央委員会
10 (土)	
11 (日)	
12 (月)	生徒会朝礼
13 (火)	
14 (水)	SC/SSW 勤務日
15 (木)	
16 (金)	SC/SSW 勤務日
17 (土)	
18 (日)	
19 (月)	2 学年保護者会 (14:00～)
20 (火)	
21 (水)	SC/SSW 勤務日
22 (木)	給食終 大掃除 ジャージ登校
23 (金)	終業式 SC/SSW 勤務日
24 (土)	
25 (日)	
26 (月)	冬季休業日始
27 (火)	
28 (水)	
29 (木)	学校閉庁日 (～1/4)

国語科 学年意見発表会

国語科で取り組んできた意見発表の集大成として、11/28 (月) に学年全体の意見発表会を実施しました。各クラスの代表生徒2名ずつの発表を全員で聞き、生徒の投票等により最終的に学年代表を決めました。論点を整理し、自分の主張を堂々と述べる姿が印象的でした。

<クラス代表者と発表内容>

	発表者	題名
1組	〇〇 〇〇	情報通信機器の使い方
	〇〇 〇〇	いじめの被害者に非はあるのか
2組	〇〇 〇〇	私も相手も幸せに
	〇〇 〇〇	インターネットとの付き合い方
3組	〇〇 〇〇	意見の大切さと工夫
	〇〇 〇〇	学校でのノートの利用について
4組	〇〇 〇〇	日本の平和さと防犯教室の関係
	〇〇 〇〇	制服について
5組	〇〇 〇〇	あだ名を禁止することについて
	〇〇 〇〇	思いやりの心

学年代表に選ばれた5組の〇〇さんは、1/10 (火) に、ルネこだいらで行われる中学生意見発表会で学校代表として発表します。

ランチョンマット 確認を

給食センターの建て替え工事に伴い、現在給食時はランチボックス給食を提供しています。弁当箱の形式で提供しているため、喫食時には衛生面の観点から、各自持参したランチョンマットを敷くことになっています。学校でも声掛けしていますが、今一度ご家庭でもご確認および声掛けにご協力ください。

12/19(月)の保護者会については、先日別紙にて配布した通知をご参照ください。

11/7 (月) より、高村 あかね 教諭の産休に伴い、2年3組の担任は河崎 真澄 教諭に交代しました。

私は、音楽祭を終えて、クラスの一体感が強くなったと感じた。本番の二週間前は、あまり声が出せていなかったり、音程が少しずれていたりと不安な面がたくさんあった。だけど、本番が近づくにつれて、パートリーダーや実行委員が反省点、改善点を示してくれて、どんどんきれいな合唱になっていった。結果的には、間違えずに金賞をとることができたのがとても嬉しかった。私はそこから、やる時はしっかりやれるクラスで良かったと思った。金賞をとるためだけではなく、一人一人が真剣に取り組んでいき、後悔せずに終わることができ、これまでやってきた成果を本番で出せたとはっきりわかったので良かった。

また、重要な役として伴奏者をしていて、内容がとんで止まってしまうたり、ミスしたりといろいろきつくなったときもあった。最終的にはクラスメイトの子たちに支えられながら、結果を出すことができた。

二週間前から集中して取り組んで、このような機会があったからこそ、クラスの団結力を深められると知った。人によっては楽しいと感じたり、楽しくないと感じたりするけど、それでも真剣にできたというのが一番良かったことだと思った。音楽祭だけでなく、他の行事、普通の生活でもけじめをつけて真剣に取り組んでいきたいと思った。

（2組 ○○ ○○）

私は、今回の音楽祭を通して、一年生の合唱は見れませんでした。三学年一緒に出来て、本当にうれしく思い、一生の思い出になりました。音楽祭をやったことで、さらに二年五組の仲が深まったな、と思いました。私には音楽祭を通して頑張ったことが二つあります。

一つ目は、毎日の練習でアルトパートの人を最後までひっぱってきたことです。一年生の音楽祭では悔しい結果で終わってしまったので、今年こそ金賞とってやりたいな、と思い、本番まで気合いが入っていました。朝練や放課後の練習はとてもきつかったですが、声が上手に出ずかすれたとしても、一生けん命に練習してきました。楽しくやることも大事だなと思い、ふざけてしまったときもありました。ですが歌う時に切り替えるのがとても早かったので、皆を信じて安心して歌うことができました。

二つ目に頑張ったことは、本番でも緊張に負けないで練習通りに声量を出せたことです。本番では、声がかすれて出なかったらどうしようなど、ネガティブなことをたくさん考えてしまいましたが、仲間の優しい応援を聞き、自分に自信を持つことができました。本番では自分にとって今まで合唱してきた中で一番良かったな、と思いました。今までの練習を真剣に取り組み、お互い皆を支え合うことができたことが良かったと思います。苦しくなった時でも、クラスの皆がはげましあったり、気合いの入る声掛けができていたので、またあらたに良い思い出をつくることができました。最後に二年五組の人と楽しく銀賞をとることができて良かったと思いました。

（5組 ○○ ○○）

中間テストが終わり、秋が見えてきた十月、音楽祭特別練習が始まりました。悔しく終わった去年でしたが、今年は金賞、銀賞どちらかとはってやりたいと思いながら練習に励みました。アルトパート全体では、歌っている最中でも会話が聞こえたり、ちょっかいを出される人が出てきたりと、まとまっているとはいいにくい状況でした。しかし練習を重ねていくにつれて、そういうこともだんだんなくなっていきました。全員が自分のパートのことを考え、「声を出し切れていない」「ラスサビで他パートにつられがち」など、欠点をしっかり認識し、ソプラノCDで練習したり、不得意な部分を何度も練習したりと、合唱に対して全体が意欲的になったように感じました。

まとまりのなかったアルトがここまで変わることができたのは、みんなの意識が変わったからというものもありますが、やはりパートリーダーの○○さんと○○さんのおかげかなとも思います。誰よりも先にアルトの足りないところを見つめて改善案を考えたり、アルトのメンバーの意見をきいて練習時間を上手に区切るなど、リーダーの素質が輝いていると感じました。二人はもちろん、男声やソプラノのパートリーダーも本当にすごいなと心から尊敬しています。

本番当日、全員が並び終え、伴奏者が鍵盤に触れ、クラス全員がずっと息を吸いました。そこからは本当にあっという間だったように思います。三分の課題曲、四分の自由曲で十分いかないくらいの長さだったのに、一、二分くらいしか経っていないように感じました。それでも緊張に屈せず、練習と同じように堂々と歌うことはできました。目立ったミスもなく、自分のベストを尽くせた、とほっとしました。

結果は銀賞が五組、金賞が二組でした。一組に足りなかったものは何だったのかは分かりませんが、賞をとれなくても自由曲の歌詞の如く、精一杯の声を出して自分のベストを尽くしたこの経験は、いつか自分の力になるだろうなと思いました。何より楽しんで歌えたので良かったです。

（1組 ○○ ○○）